

## 第5次総合計画に 生活排水対策の理念を



若園ひでこ議員

【議員】企業・行政・家庭の中で、環境対策が遅れているのは、家庭における水質浄化。では、第5次総合計画策定における下水道整備の展望は。

【経済建設部長】現状では、市街化区域で実施できていない計画を進めていきたい。

【議員】市街化調整区域の下水道整備の計画は。

【経済建設部長】平成16年3月の流域関連公共下水道基本計画で平成27年度までにこの目標年次が設定されており、市街化区域で想定をされている地域を含めた計画が、終わればということになる。

【議員】何十年も先になると言うことか。

【経済建設部長】かなり先との理解でよいと思う。

【議員】莫大な時間と費用のかかる下水道整備は、短期間では難しい。では、環境対策として、合併浄化槽普及の考えは。

【生活部長】単独浄化槽

から合併浄化槽への設置費用補助制度を継続し、ピーアールに努めたい。

【議員】「水と緑とポートの町」の標語は、永久に変わらないのか。

【生活部長】生活部長ひとりでは、答えられない。この質問は、今後の東郷町の環境を考えるという意義からであると思う。住民意向調査における町民の環境に対する意向を真摯に受け止めて、第5次総合計画策定において、現行の環境基本計画で定めている河川水質汚濁防止策との整合性を図りながら、生活排水対策をしっかりと位置付けていきたいと考えている。

### 住民意向調査報告書

【議員】住民意向調査報告書の活用は。

【企画部長】町づくりフォーラムのワークショップ、第5次総合計画策定委員会、審議会の審議過程での情報源とする。

\*\*\*\*\*

## 町長は平和宣言しないことになぜこだわるか



山口洋子議員

【議員】町長はオバマ大統領のプラハ発言「核兵器のない世界の実現のために努力する道義的責任がある」をどう評価するか。

【町長】敬意を表する。

【議員】広島市長の発言「廃絶することにし、か意味のない核兵器」の位置づけをどう考えるか。

【町長】立派なひとつの考えと思う。

【議員】町長も核兵器廃絶のために活動する責任があると思うか。

【町長】個人的には責任があると思う。町長としては、今は思っていない。

【議員】町長は首長としてリーダーシップを取れる立場ではないか。一度戦いになれば「自分たちの町だけ平和であればよい」はかなわない。平和都市宣言をしないことになぜそんなにこだわるか。

【町長】こだわっていない。

【議員】活動をやり易いように手助けすることはどうか。

【町長】町民の自発的な取り組みは申し出があれば可能な限り協力したい。

### 透明性、まずは傍聴者に決算書を

【議員】今回、決算審議に向けて議会傍聴者のために、議会入り口に決算書が用意された。一歩進んだが、さらに町民にわかってもらうために、各区や自治会などに決算書を置く考えは。

【総務部長】今のところない。

【議員】役場のどこかに置いて町民が買えるようにする考えは。また年賀のご案内の時、お知らせするのはどうか。今後、町民と事業を協働して町づくりをしていくには、情報の共有が不可欠と思うが。

【町長】要望があるか不安。さらなる透明化のために不可欠かどうか疑問だと思っている。